

2025 年 9 月 日米軍事情報 新聞記事サマリー

記事タイトル：	米国防総省による在日米軍の調査 在日米兵による性的暴行事件 (原文タイトル：Pentagon watchdog to evaluate handling of violent crimes against Japanese civilians)
サマリー：	9 月 2 日、米国防総省の監察当局は、沖縄で相次ぐ米兵による性的暴行事件等に関し、在日米軍の犯罪防止に関する方針の遵守状況などを調査すると発表。同調査は、沖縄の米海兵隊基地を含む日本国内の各地の米軍基地で実施予定。監察当局は、同調査について、国防総省による独自の判断としている。 在日米兵による犯罪事件等に関し、米連邦下院議会では、9 月 10 日、沖縄での米兵による規律違反や犯罪行為に対する在日米軍の取組状況の調査や報告、並びに改善策の策定などに関する条項が含まれた 2026 年度国防権限法案（NDAA）が可決されている。一方、上院案には同条項は含まれていないため、上下両院による同法案一本化の過程で最終的に同条項が残るかは不透明な状況。 注： 下院案の NDAA における同条項は、ハワイ州選出で日系アメリカ人 4 世のジル・トクダ議員（民）が立案。同議員については、昨年 9 月、玉城デニー沖縄県知事が同議員を含む連邦議会議員と米兵による性的暴行事件を含む米軍基地問題などについて意見を交わしている。
記事出典：	https://www.stripes.com/theaters/asia_pacific/2025-09-15/dod-ig-sexual-assault-okinawa-19095502.html （10 月 6 日閲覧）
参考：	「在日米軍に対する調査に関する覚書」 https://media.defense.gov/2025/Sep/02/2003791026/-1/-1/1/ANNOUNCEMENT%20MEMO%20D2025-DEV0SV-0143.000%20(002)_REDACTED_FINAL.PDF（10 月 6 日閲覧）

	「国防権限法案（NDAA）」（下院案） https://www.congress.gov/bill/119th-congress/house-bill/3838/text （10月6日閲覧）
--	--